



## 前川原にて陸幹候採用予定者部隊研修

東京地本は、10月2日（火）、3日（水）の2日間、陸上自衛隊幹部候補生学校（前川原駐屯地）が主催する、「平成30年度陸上自衛隊幹部候補生採用予定者に対する学校研修」に参加した。

本研修は、平成31年度採用予定者に対し、幹部候補生学校の概要を理解させるとともに、入校にあたり少しでも不安の解消を図ることを目的とし、毎年実施されている。

今年度の研修は、東京地本40名、東京地本を除く東部方面管内地本29名及び他方面管内の地本59名の計128名が参加した。

初日は、幹部候補生学校の副健大講堂にて全般説明、訓練見学、自主練成見学、体験喫食、学校概況説明及び入校学生との懇談が実施された。入校学生との懇談会では、大学・大学院の別、出身大学等を基準としたグループに分かれて懇談が行われ、入校学生と直接会話することで、入校前の不安・疑問等の解消が図られた。

また、宿泊ホテルで行われた懇親会では、東京地本を含む東部方面管内の採用予定者のほか、福岡・熊本地本からの参加者も加わり、各地本の絆を超えた同期の絆が醸成された。

2日目は、副校長講話、校内見学、教育実視及び体験喫食が実施された。副校長（辻本正彦 1等陸佐）講話では、学校の沿革と概要、自衛隊の概要と歴史及びキャリアパスについての説明があった。

特に、キャリアパスについての説明では、副校長自らの経歴を例にした具体的な説明に参加者は興味深く聞き入っていた。

また、校内見学では、史料館、居室及び障害走コースを見学し、その後の教育実視では、英語、統率及び交通概説の授業を見学した。

参加した採用予定者からは、「事前に学校の様子が見ることができて良かった」、「学校の生活がイメージできた。」等の入校意欲が強く感じられる所感が多かった。

東京地本は、今回研修に参加した採用予定者を含む一般幹部候補生合格者が、来年4月に前川原の幹部候補生学校の門をくぐり、学校の校風である「質実剛健」の精神のもと、日々邁進することを期待している。



## 足立区民まつりで自衛隊をPR

東京地本足立地域事務所（所長 只野 光彦 2等陸尉）は10月6日（土）、荒川河川敷虹の広場で開催された「あだち区民まつり A I F e s t a 2 018」において第1普通科連隊第5中隊の支援を受けて自衛隊の広報活動を実施した。

当日イベントは、足立区観光交流協会が主催し、親子で遊べる体験ゾーンやスタンプラリー等、子供から大人まで楽しめる様々な催しが企画され、当日は天候にも恵まれる中、会場は大勢の家族連れや地元住民等で大いに賑わっていた。

今年で7回目の参加となる足立地域事務所が出展した自衛隊の広報ブースでは、軽装甲機動車、高機動車及び偵察用バイクの車両展示をはじめ、高機動車の体験搭乗、迷彩服に着替えての偵察用バイクでの写真撮影等が行われ、特に偵察用バイク前での写真撮影コーナーには常に行列ができる盛況ぶりであった。

来場者からは「ここで自衛隊を見ることができるとは思わなかった」、「いつもありがとう、がんばって下さい。」等の声が聞かれ、所望の成果を得ることができた。

東京地本足立地域事務所では、今後も地域に密着した広報活動を協力者、部隊等と連携しながら実施し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げていくとしている。



## すみだまつり・こどもまつりでの広報活動

東京地本江東出張所（所長 鴨川康一 3等海佐）は10月6日、7日の2日間、墨田区錦糸公園で実施された「第43回すみだまつり・第48回こどもまつり」において、第1普通科連隊第3中隊の支援を受け、広報活動を実施した。

当該イベントは、区民の交流により「ふるさとすみだ」の意識を高め地域振興を図るとともに、子供の安全と健康を願い、連携と友情を育むことを目的としており、今年は両日合わせて約30万人の来場者を集めた。

幅広い年齢層の来場者に自衛隊に対する親近感の醸成及び理解の促進を図るため、今年で5回目の出展となった広報ブースでは、自衛隊の制服や迷彩服の試着体験、偵察用バイクとの記念撮影及びミニ射的コーナーを設け、両日も多数の家族連れ等が足を止めて、各コーナーにも長蛇の列が出来た。

また、開催期間中には江東出張所が採用まで支援し、平成29年度に海上自衛隊へ入隊した高橋海士長もフライトに参加し、来場した子供達への自衛隊グッズ等の配布及び海上自衛隊のPRを積極的に行った。広報官顔負けの活動により広報ブースを支援した。

来場した方からは「今日はとても良い記念になりました。ありがとうございました」と感謝の言葉と併せて、「自衛隊さん、これからも頑張ってください」との励ましの言葉をいただきました。参加した広報官、隊員及び協力者は更に広報活動への意欲を向上させていた。

東京地本江東出張所では今後も地域に密着した広報活動を実施するとともに、部隊等とも連携を密にしておき、防衛省・自衛隊の活動に対する東京市民等の理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げていくとしている。

